

ほおづえ会の活動について

ほおづえ会会長 石村 聖一郎(11期)

2年に一度のほおづえ会総会が先日開催され、会長に再選されました11期の石村聖一郎です。よろしくお願いいたします。

近年は表だった活動が開催されていっていませんでしたが、最近、2つの活動がありましたので、ご報告させていただきます。

1. 建築見学会



2013/03/01(金)にキッズアカデミー太陽丘保育園(設計:隈研吾建築都市設計事務所)の見学会を開催しました。

石川高専11期の井上徳之さん(ニューハウス工業勤務)が現場主任を務められたということで、特別にほおづえ会会員限定で案内していただきました。

一般公開の見学会は開催されないのが、貴重な体験をすることができました。

急な案内だったので、全会員にお知らせはできませんでしたが、facebookで呼びかけたところ15名の参加がありました。

卒業生が関わった物件で、見学会を開催して頂ける場合は御一報下さい。

2. 関東地区忘年会

2013/12/07(土)に東京(神楽坂)で関東在住の8期を中心とした卒業生が集まり、忘年会が開催されました。関東では約30年前くらいから毎年恒例だそうです。

卒業生全員に案内を出すというような大きなことではなく、口コミで集まる、ゆるい会ですよとのことでしたが、毎年、15名近くの参加があるそうです。



毎年12月の第一土曜日に神楽坂のちゃんこと決まっているそうなので、関東在住、仕事で上京する機会のある方は参加してみられてはいかがでしょうか。

ほおづえ会からのお知らせ

facebookのお知らせ

現在facebookにある、ほおづえ会のグループ(<https://www.facebook.com/groups/677037649002677/>)ですが、イベントのお知らせ等ご活用いただきありがとうございます。

また引き続きグループへの参加をお待しております。

同窓会にまさにうってつけのfacebookですが、管理人の同級生は数人しか居ません。微妙にアナログ世代なのでしょう? 反対に既に入っていたほおづえ会関係の方でも、拘束される感じが嫌だと、早々に見切りをつけて退会された人も見かけます。あまり流行のシステムに依存せず、本来のほおづえ会サイト(<http://hoozue.org>)を充実するようにしていく必要があると感じました。

HPについてのご不明な点、企画のアイデア、または活用のアドバイスなどありましたらE-Mail:office@hoozue.orgまでご連絡いただければ幸いです。

住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿を発行しておりません。会報などの連絡・郵送のため会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが、下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡ください。

e-mail: utd@ishikawa-nct.ac.jp (内田)

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別となっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。

会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成25年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.22

<http://hoozue.org>

ほ

お

づ

え

平成25年12月24日発行

■ 企画編集 / ほおづえ会

■ 発行 / ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局

(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)

〒929-0392

石川県河北郡津幡町北中条タ1

石川工業高等専門学校 建築学科(内田)

TEL / 076-288-8184

FAX / 076-288-8191

ほおづえ会 HP



facebook グループ



石川高専は2015年に創立50周年を迎えます。
なお建築学科は2020年に50周年を迎えます。



平成25年10月27日、石川高専建築学科棟2階製図室にて平成25年度ほおづえ会総会が、16時より11名の出席者にて行われました。限られた時間ではありましたが、今後の活動の方向性を確認できた有意義な会となりました。

出席された皆様お疲れ様でした。

◎平成24年度 収支決算報告

(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

<収入の部>

・会費(正 3,000円×54名)	162,000
・会費(準 1,000円×195名)	195,000
・会費(新卒業生 3,000円×32名)	96,000
・預金利息	102
・前年度繰越金	1,430,098

合 計 1,883,200

<支出の部>

・印刷費(会報, 払込書印字)	52,800
・通信費(会報送料等)	89,600
・事業費(HP維持費)	200,000
・次年度繰越金	1,640,800

合 計 1,883,200

◎平成24年度 事業報告

- ・ほおづえ会会報第21号発行(平成24年12月)
- ・建築見学会 キッズアカデミー太陽丘保育園
設計:隈研吾 施工:ニューハウス工業(11期井上氏担当)
- ・ホームページ、facebookページの更新、充実

◎平成25年度 収支予算

(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

<収入の部>

・会費(正 3,000円×60名)	180,000
・会費(準 1,000円×200名)	200,000
・会費(新卒業生 3,000円×40名)	120,000
・前年度繰越金	1,640,800

合 計 2,140,800

<支出の部>

・会議費	30,000
・事務費	50,000
・印刷費(会報, 払込書印字)	50,000
・通信費(会報送料等)	150,000
・事業費(企画)	100,000
・事業費(学校補助)	200,000
・事業費(HP維持費)	100,000
・慶弔費	50,000
・雑費、予備費	1,410,800

合 計 2,140,800

◎平成25年度 事業計画

- ・ほおづえ会会報第22号 発行(平成25年12月)
- ・ほおづえ会関東支部懇親会(東京:平成25年12月)
- ・ほおづえ会女子会(金沢:平成26年1月)
- ・ホームページ更新、facebook への投稿など情報発信
その他、建築見学会、懇親会、インターンシップ協力、
学校授業、紀友祭に協力などを検討中

◎平成25・26年度 役員

会 長	石 村 聖一郎 (11 期)	
副 会 長	由 田 徹 (12 期)	新任
	家 山 真 (14 期)	
常任幹事	山 岸 学 (16 期)	HP担当
	村 田 一 也 (20 期)	郵送担当
	大 杉 建太郎 (29 期)	広報担当
	東 川 佳 世 (33 期)	
事 務 局	内 田 伸 (20 期)	委員事務所管理、 学校窓口担当
会 計	中 川 恵 (13 期)	新任
会計監査	三 谷 創 (7 期)	

2013年8月8日 建築学科名誉教授 榎田 清殿 (89歳)には、頭書の日に御逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表しお知らせいたします。

榎田 清 先生(雅号 烏亭)の御略歴

- 1923年 京都京丹後市峰山町にて出生(3.20)
- 1947年 京都大学工学部建築学科卒業
総理庁技官より大阪府技師となる
- 1951年 大阪にて安井建築設計事務所勤務
野村證券、サントリー、石原産業など高度経済成長期の建築実務にあたる
- 1961年 大阪にて榎田建築設計事務所開設
農協、富士電気など設計監理にあたる
- 1974年 国立石川工業高等専門学校建築学科に赴任
建築設計、計画、造形、建築史を担当
その間、犀川美術同好会に参加し前会長・大沢衛氏、五井孝夫氏ほか市内在住の美術工芸、茶道、華道の作家との知遇を得る
- 1977年～ 金沢市景観審議会委員として景観条例などの審議にあたる
- 1978年 文部省短期在外研究生としてイタリア・ベネツィア建築大学に短期留学
- 1979年 旧大同生命北陸支社、日本生命北陸支社社屋などの文明開化期の歴史的建造物の保存市民運動のリーダーとして街頭に立つ
- 1988年 国立石川工業高等専門学校退官 名誉教授
- 1997年 日本建築学会北陸支部より北陸建築文化賞を受ける
金沢市などの都市景観を描いた長年にわたるスケッチ収録とそれに基づく文筆活動により広く固有の環境都市文化の顕証につくした業績が評価される
- 2003年 北国新聞社より北国風雪賞を受ける
「金沢まちなみ景観スケッチ集成」五百景を金沢市に寄贈
傘寿記念展として金沢と西欧での景観スケッチ回顧展をひらく
- 2011年 しいのき迎賓館にて米寿記念展を開催

ほおづえ会の活動について

ほおづえ会の活性化には、会員みなさまの御協力(参加、会費納入も含めて)が不可欠です。

そこで、ほおづえ会の状況、活動について説明したいと思います。

1. 総会の開催

2年に一度総会を開催し、役員人選、会計、事業等について議論しています。1994年の設立総会には169名(会員数800名)の参加をいただき、盛大に開催されたものの、年々参加者は減少し、2000年代に入ってからは役員のみ参加で10名以下となり、形式的なものになってしまいました。

今年の総会は11名の参加で、そのうち、役員以外の参加は6名でした。会員数約1400名に対し、かなりの少ない参加者です。

例年、紀友祭の開催日に高専で開催しています。会員のみなさんの御参加をお願いいたします。

2. 会員相互の親睦

かつてはバーベキューが開催されていましたが、年々参加者が減少し、2005年を最後に開催されていません。2011年の総会後に出席者で懇親会を開催したところ14名の参加があり、久しぶりに親睦がはかれました。

今後は懇親会や見学会を積極的に開催し、会員相互の交流を深め、それをきっかけに、ほおづえ会に参加していただけるよう働きかけたいと思います。(2014/1/25には女子会を開催予定です。場所は金沢駅近辺、会費は3500円程度。

詳細は<https://www.facebook.com/hoozuekai>を御参照下さい)

3. 在学生の活動に対する補助金

学生主体のボウリング大会に補助金を支出し、大会開催費、景品に当てていただき、テザコン(全国高専デザインコンペティション)をはじめ、石川県デザイン展やオダケホームコンペなどでの本選参加、表彰式参加などへの支援(旅費の補助など)、その他、進路相談、仕事内容の紹介を主としたOBOG訪問時の寸志などに活用いただいています。

4. 会報「ほおづえ」の発行

年1回発行を原則とし、ほおづえ会の活動、卒業生の近況、学校の様子などをお伝えしています。

ほおづえ会の発足以来、発刊を重ね、発行できなかった年もありますが、今回で22号となりました。

会員近況に御寄稿頂ける方がいらっしゃいましたら御一報下さい。office@hoozue.org

(他の記事の関係で必ずしも掲載とならないことを御了承下さい。)

5. 名簿の管理

会員の住所を随時更新し、会報の発送をしています。

石川高専全体同窓会の名簿とはリンク出来ないため、住所変更の場合は石川高専同窓会、ほおづえ会の両方に連絡をお願いいたします。

utd@ishikawa-nct.ac.jp

会員数約1400名のうち、住所不明者約300名です。

会報が届いていないと言う卒業生が身近にいらっしゃたら、住所変更をすようにお伝え下さい。

かつては名簿を発行していましたが、個人情報保護、発行経費を考慮し、現在は発行していません。

6. 会費の管理

会報と同封で会費納入のお願いもお送りしておりますが、なかなか納入していただけていません。

会費納入して頂ける方も年々減少し、ほおづえ会発足当時の1994年には会員数800名のうち約9割の方々から納入がありました。去年は卒業

生数は2倍近くになっていますが1割にも満たない納入が現状となっております。

現状のままでは、2020年のオリンピック開催時に向かえる石川高専建築学科の50周年を前にして消滅しかねません。

50周年企画として、今話題の新国立競技場見学ツアー(案)が実現できません ^_^;

今回の会報にも同封しましたが、是非、納入をお願いいたします。

7. 情報の発信

年に1回発行の会報以外にも情報も広く知って頂くため、ホームページ、facebookページも開設し、随時更新していますので、そちらも御覧になって下さい。

ホームページ: <http://hoozue.org/>

facebookページ: <https://www.facebook.com/groups/677037649002677/>

(2013/12/9までは<https://www.facebook.com/hoozuekai>)

今後も活動を続けていきますので、御協力をよろしくお願いいたします。

会員近況

井上 徳之(11期)

25年前に石川県に帰ってきたのに、随分と学校には顔も出さず、そのうえ、同窓会や、卒業生との付合いも殆ど無く、ご無沙汰しております。私は、現在ニューハウス工業という石川の住宅会社に勤務しております。元々、小さいゼネコンに勤務しておりましたので、ずっと現場管理を行っていたのですが、その後設計の方に変わり、現在は、本社の管理建築士を行っております。

昨年、あるきっかけで、金沢市太陽が丘の保育園の建設に関わることになりました。設計は隈研吾さんです。

木造の保育園はたくさんあると思いますが設計図書を見て大変興味深い建物でしたが、非常に難しい建物で、会社は、住宅のノウハウは持っておりますが、このような規模の建物を建設したことが無かった事と、設計変更が非常に多く工程の管理も出来なくなるほどでした。その為、工事途中から私が現場所長に変わりました。

工期が間に合わない、予算が無い、作り変えばかりしていると、いろいろ噂はあった現場でしたが、何とか設計図書通り、工期は少し遅れましたが開園には間に合わせる事が出来ました。

その当時、隈先生は、歌舞伎座等の工事と並行して監理をされておりましたが、この現場に来るのが楽しみで、思い通りの物になっていると感想を言われておりました。

大変苦しくて、難しくて、その分完成した時には感動がありました。皆さんも太陽が丘に行く機会があったら、ぜひ一度見に行ってください。

田中 宮土理(21期)

卒業してから18年も経ちました。設計事務所です仕事をした後、結婚、子育てとプライベートで忙しく仕事から少し離れていた時期もありました。現在は仕事にフルというわけにはいきませんが復帰して、仕事以外にも地域活動やボランティアにも積極的に参加するようになりました。そういう活動はいろんな人との出会いがあり、人生をととても豊かにしてくれます。

そのなかで、建築科の女性の先輩や後輩に出会う機会に恵まれました。不思議なもので、高専卒業というたった一つの共通点ですが、すぐに打ち解けることができるように感じます。今では仕事やプライベートの話も何でも話したり相談したりしています。時には先輩の仕事ぶりを見て触発されることもあります。こういう関係は高専ならではのかもしれない。

自由な雰囲気があったので、先輩後輩も厳しくなかったのかなと思います。さて、私は今こんなことを考えています。

「石川高専を卒業した女子が集まったら、おもしろいんじゃないかな?」ってことです。

子育てを頑張っている人、趣味を楽しんでいる人、仕事でキャリアを積んでいる人、いろいろいると思います。高専卒業というひとつの共通点で集まって、新しく繋がったり、また何かがはじまったり・・・そんなことを考えています。

平成26年年明け早々に、第一回目の集まりを学年関係なく卒業生女子対象に「女子会」と称してやりたいなあと思っています。この会報が届くころには開催できているといいなあ。

大熊 克弘(30期)

「中国・上海での設計活動について」

こんには30期の大熊です。高専を卒業後、東工大に編入し、大学院を出て2010年春に長谷川逸子・建築計画工房に入社しました。入社半年で担当した上海市内の都市再開発計画コンペに勝利し、その後、地域内の一街区がオフィスパークとして実際に再開発される事となりました。その設計者に弊社が指名され、担当として10年秋より上海にて設計・監理業務に携わっています。

中国ではプロジェクトを進めるにあたり、施主の決定権がもの凄く大きいので、一昔前は奇抜だけを狙ったものが多かったですが、現在では建築デザインによって経済的価値がもたらされる事を理解している施主、開発が多くなっているように感じます。

もちろん、デザインへの認識不足や施工技術の低さなどはストレスですが、逆に面白いと思えばすぐに提案を受け入れるスピード感、新しいことにチャレンジする自由というものは日本のそれよりも強く感じることが出来ます。

一時期の勢いは無くなったと言われる中国ですが、まだまだ大規模開発や多様なプログラムの設計のチャンスは広がっていると思います。施工精度の低さなど問題点もありますが、そこではない所に設計の枠組みをずらす事で、これまでとは異なる建築デザインの価値、建築文化を生み出すことができるのではないかと考えています。その点で我々のような海外の設計事務所が担うべき役割は少なくないと思います。

東野 剛(38期)

住宅メーカーに就職して1年目の仕事内容も少しずつ覚えてきた頃でした。私の会社が携わっていた隈研吾設計事務所の太陽ヶ丘保育園の作業工程が遅れているので助っ人として行って来てと言われました。仕事内容は図面の作成と聞かされていたので自分の中では着る服がスーツから作業着に替わるくらいです。ことはあまり変わらないだろうと思っていました。

しかし、実際の現場は設計事務所の要望を受け入れつつ、作業工程を組んで、組んだ日に作業ができるように段取りをするというのを同時に行っていたので、大忙しだったので自分も図面の作成以外にたくさんのお手伝をもらいました。

中で一番貴重な体験だったのは東京からやってくる隈研吾設計事務所の人たちの送り迎えです。一度だけ隈さん本人も迎えに行きましたが、想像よりも身長が高く、車に乗っている間もずっと別の仕事の電話に何回も対応していて、自分たちは保育園の現場一つだけで大変な思いをしているのにこんな仕事をあと幾つも手掛けている隈さんを単純にすごいと思いました。

普段の仕事では室内で図面を作成しているだけで、それが現場ではどのように作られているのか見る機会がなかったのですが、現場事務所では作った図面が次の日にはすぐそばで作業しているのを見ることができてとても良い経験になったと思います。

この経験を活かしてこれからも日々の仕事を頑張っていきたいと思っています。



学内ニュース



●新任職員あいさつ

西本 雅人(にしもとまさと)

初めまして、今年4月から建築学科の助教として着任いたしました西本雅人です。もともと石川県金沢市出身です。三重県の大学に進学し、神奈川県的设计事務所を経てまた石川県に帰ってきました。地元を飛び出した際は今度戻る時は余生を過ごすときと考えていましたが、こんなにも早く戻ることができるとは思いませんでした。14年振りに戻って感じることはやはり地元は人が温かいです(気候は寒いですが…)。久々に再開した中学・高校の友人、まちづくりに参加して出会ったせせらぎ商店街の人々、北陸の子ども環境に携わっている方々、石川高専の学生や教職員の方々、この1年で本当に多くの人と出会うことができました。学生の対応や将来などに悩むことも多いですが、ここで出会った人たちに支えられて、初めての教職・研究職の仕事も楽しく取り組ませていただいております。

専門は建築計画です。大学時代に保育施設(幼稚園・保育園・こども園)の研究に携わって以来、ずっと保育施設に関わっています。大学卒業後に就職した「日比野設計」は保育施設を専門とする設計事務所です、主に関東や中国地方の保育施設の設計を担当させていただきました。その間ずっと、「子どもの活動がどうすれば活発になるか、保育者が空間を使いこなすためにはどうすればいいか」をテーマに研究や設計に取り組んでいます。せっかく地元に戻ってきたのなら石川



県の子ども環境を良くするために研究室全体で貢献できるように頑張っていきたいと思います。

●1年間の活動記録

- 平成25年03月 金木 健先生 退職
- 平成25年04月 西本雅人先生 着任
- 平成25年05月 「建築学科第21回ボウリング大会」(藤江レジャラン)
- 平成25年05月 日本建築学会北陸支部主催～未来のまちデザイン～「あなたが考える30年後のまちのデザイン」で3作品が受賞
- 平成25年08月 体験入学2日間実施
- 平成25年07月/09月 公開講座2つ継続実施(勝手にデザコン/住宅模型)
- 平成25年10月 宮田桂技術職員休職/棒田恵技術職員着任
- 平成25年10月 津幡町どまんなかフェスタで間伐材家具抽選会
- 平成25年10月 オダケホーム住宅コンペで2作品が受賞
- 平成25年10月 第48回紀友祭およびオープン・カレッジ+ほおづえ会役員会
新副会長に由田様(A12期)
- 平成25年10月～ 学生玄関/職員玄関前ロータリー改修
- 平成25年11月 40回石川県デザイン展で2作品が受賞
- 平成25年11月 3年1泊(愛知)/4年4泊(九州方面)合宿研修
- 平成25年12月 「第22回ボウリング大会」開催(コロナボウル)

●石川県デザイン展とオダケホーム住宅コンペで受賞

「第40回石川県デザイン展」において、学生部門の第2部で部門最優秀賞にあたる金沢市教育委員会賞、第1部では銅賞を受賞しました。

■金沢市教育委員会賞 作品：Co-Lab Office Kanazawa
大伏玄泰(3年)

■【学生部門】銅賞 作品：リバーシブルな商店街
東森友一(5年)

第19回『北陸の家づくり設計コンペ』において、北國新聞社賞、また短大の部の優秀賞を受賞しました。

■北國新聞社賞 作品：「時とあそび」-シュミを楽しむ家-
杉本裕哉, 寺内鈴音, 宮本紗貴, 吉崎 努
(4年生4名の共同作品)

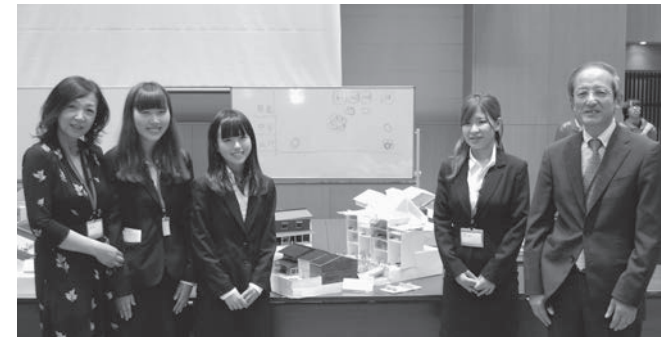
■優秀賞(短大・専門学校の部) 作品：街角の空き地
石崎大和, 高山健介, 沼田汐里, 山田朋美
(5年4名の共同作品)

●報告 デザイン・コンペティション2013in鳥取(米子高専)

第10回全国高専デザコン2013は、11月8日(金)～10日(日)にかけて米子高専(鳥取県)で開催されました。石川高専からは3部門で学内予選や一次審査を通過した5作品が本選参加となり、空間デザイン部門で最優秀賞ふくむ、計3作品が入賞しました。

今回のデザコンはメインテーマに「かえる」を掲げ、空間デザイン・創造デザイン・構造デザイン・環境デザインの4部門+3次元設計造形コンテストでアイデアやプレゼンテーションなどを競いました。

****空間デザイン部門で最優秀賞受賞!!****



■空間デザイン部門 最優秀賞(日本建築家協会会長賞)
Over the Canal 路地と水路のある風景

～せせらぎ通り商店街～

学生：木戸口美幸, 長江晟那, 田村奈巳
(5A2名・4A1名共同)
指導教員：道地慶子

■構造デザイン部門 審査員特別賞
「りったいパズル」 指導教員：船戸慶輔

学生：安藤桂子, 中川和恵, 倉ヶ谷渚(4A3名共同)

■環境デザイン部門 審査員特別賞(阿南高専との合作)
「Try!! Athlon!! 3つの競技で地域こうけん」

学生：大森勇矢, 高 幹矢(4A2名共同)
指導教員：石渡 博

来年の開催場所は熊本高専(熊本県)でテーマは「よりそう」です。